

福祉委員って？



大津市においては昭和 61 年度から市社協の働きかけで誕生しました。
 現在、真野北学区では自治会から福祉委員を選出いただき、学区社協で委嘱しています。
 福祉委員は、学区社協・自治会・民生委員児童委員・地域ボランティアと共に、住みよい福祉のまちづくりを進めるため身近な地域の見守り、声掛け、支え合い、助け合い活動を行います。

活動の内容

- *福祉委員研修会・視察研修会に参加します。
- *各町内で開催される“ふれあいサロン”に参加・協力します。
- *“ふれあい給食”で手作りお弁当を作ります。
 時に配食のお手伝いをします。
- *“寺子屋プロジェクト事業”開催当日のお手伝いをします。
 トワイライト勉強会の時には夕食の調理をします。
- *敬老の日に見守り活動の一環として、お祝いの品を配る自治会役員に同行して“いのちのバトン”を配布している地域もあります。
- *真野北ふるさと夏祭りでは、“スーパーボールすくい”等を出店します。
- *毎年10月1日には“赤い羽根共同募金”の街頭募金活動に参加・協力しています。
- *福祉委員は地域の見守り、声掛けを通じ気づいたことを民生委員児童委員に提供します。



～今後の課題～

令和2年度、各自治会から合わせて 25 名の福祉委員を選出していただきました。その中で新任福祉委員が過半数を占めています。自治会における役員任期が1年にも関わらず、長年継続していただいている福祉委員の方もおられます。地域と社協を結ぶ重要なつなぎ役として頑張って活動いただいています。是非とも福祉委員を継続していただき、住みよい真野北の未来にお力添えくださいますようお願い申し上げます。また、福祉のまちづくりのお手伝いをしていただけの方、お近くの社協役員までご一報ください。

連絡先

真野北学区社会福祉協議会 大津市緑町 4-1 (市民センター内)
 社会福祉法人大津市社会福祉協議会 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 5 階 ☎526-5336



真野北学区 社協です

スローガン

みんなで支え合い 日本一安全で住みよいまち 真野北

私たちのまち

真野北学区の数字



人口

大津市 344,144 人
 真野北学区 6,173 人

世帯数

大津市 152,163 世帯
 真野北学区 2,876 世帯

民生委員児童委員の人数

大津市 657 人
 真野北学区 16 人

福祉委員の人数

大津市 1,026 人
 真野北学区 25 人

2020 年 12 月現在

真野北学区は隣の小野学区とともに京阪電鉄が開発した住宅地です。町の中には曼荼羅山や古墳があり自然豊かな町です。発足当初はマンモス団地でしたが、ご多分にもれず、少子・高齢化が進み若年層の減少と高齢化が進んできております。一人暮らしの高齢者でも、地域のつながり、助け合いで「みんなが支え合い安心して暮らせる福祉のまち」を目指しています。

学区社会福祉協議会 (学区社協)って？

学区社会福祉協議会（通称、学区社協）は、住民が主体となって地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組む団体です。

大津市では、小学校区ごとに36学区社協が自治会をはじめとする各種団体と協力し合って組織をつくり「このまちに住んでよかった」と思える福祉のまちづくりを進めています。

学区社協 6つの取り組み

- ふれあう** ふれあいサロン、ふれあい給食サービス、敬老事業、寺子屋プロジェクトなど
- 学ぶ** 福祉のまちづくり講座、地域福祉講座など
- 支える** 学区ボランティアグループやふれあいサロンの支援など
- 見守る** 見守りや声かけ活動、助け合い活動など
- 知らせる** 学区社協広報誌の発行など
- 募る** 会費・賛助会費・共同募金など

財源について

学区社会福祉協議会の主な財源は、自治会を通じてお願いしているみなさまからの「会費」や「共同募金」のほか、市社協からの事業助成金などです。今回ご紹介している地域の実情に応じた福祉活動を推進するためには、自主財源である会費がとても大切となります。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

真野北学区社協の活動

高齢者のために

ふれあい給食

毎月25日に、80歳以上の独居高齢者を対象に、お弁当や副食をお配りしています。調理は福祉委員を中心に給食ボランティアと民生委員児童委員が行い、配食は見守りを兼ねて、民生委員児童委員が担当しています。お弁当の掛け紙は真野北小学生の作品です。



いのちのボタン

緊急時、救急隊員などに必要な情報を知らせるために、医療情報を冷蔵庫で保管する容器が“いのちのボタン”です。“いのちのボタン”は、健康やひとりであることに不安を抱えている方の安心につながる取り組みです。学区社協から民生委員児童委員を通じてお配りしています。

地域のために

生活支援物資

生活支援物資は学区社協で集め、大津市社協を通じて支援が必要な方々へ提供し、生活再建のお手伝いをしています。年間を通じて支所にて受付しています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



黄色い帽子

真野北小学校の新生児に黄色い帽子を呈呈しています。これは青少年育成学区区民会議・自主防犯推進協議会との3者合同で行っています。



ふれあいサロン地図



ふれあいサロン

真野北全8町でふれあいサロンが開設されています。各町により、月一回または二回開催されており、各サロンでは、お茶やコーヒーを飲みながら、音楽を聴いたり、歌をうたったり、談笑したりしています。

寺子屋プロジェクト

小・中学生を対象に市民センターにて、夏・冬休みを中心に宿題を一緒に行うことにより、異年齢の子どもたちの交流を行います。小学生は、お正月に書初めをしたり、おぜんざいを食べたりします。中学生は年間を通じて、4～5回のトワイライト勉強会があり、皆さんと一緒に手作りの夕食をいただくのが楽しみです。

子どものために



お正月の書初め



夏・冬休みの勉強会



トワイライトの食事会